

2024年度 北見縣高等学校シラバス

〔教科〕 〔科目〕	〔国語〕〔論理国語〕	2年	2単位	教科書	精選 論理国語	副教材等	履修対象・ 使用教室 等	2G/HR	
教科・ 科目の 目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。								
評価 の 観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度					
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方の関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。		言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。					
評価 方法	*単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、〔A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況〕とする。 *単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総合的な評価を行ったものを「5段階の評定」とする。								
評価 資料・ 評価 比重 (100点換算)	評価資料等	予定回数・内容等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	単元テスト	14回			100	100	0		
	課題提出	適宜			0	0	100		
		〔観点別配分%〕			〔3観点の比重を%で示しています〕				
月進行 〔計画〕	〔単元名〕 学習項目名	配当 時間 〔計画〕	学習内容・目標（到達点） など			主な評価資料		評価の重み付け(◎○)	
4 5	学問の発見 手の変幻	10	・「人はなぜ学ばなければならないか」という問いに対する筆者の考えを根拠とともに読み取る。 ・文章中の例示の内容を踏まえ、自分の経験を具体例とともに述べる。 ・文章中の抽象的な表現の内容を踏まえ、筆者の「芸術」についての考え方に対する自分の考えを述べる。 ・逆説的な表現の内容を理解する。			単元テスト	◎	○	
					ノート・レポート提出		○	◎	
						授業態度			◎
6 7	「内的成長」社会へ 「具体」から「抽象」へ	12	・現代日本社会における「中間社会」の現状と課題を読み取る。 ・哲学的な意味を持つ語句について、その内容を理解する。 ・言葉の性質についての筆者の考えを読み取る。 ・外国の言葉や表現を選び、それが表す概念とともに紹介する。			単元テスト	◎	○	
					ノート・レポート提出		○	◎	
					授業態度			◎	
8 9	未来世代への責任 〈近代〉の入口と出口の間	10	・環境問題についての筆者の考えを読み取る。 ・「未来世代への責任」という題で自分の考えを書く。 ・筆者が考える「問題の本質」の内容を論拠とともに読み取る。 ・「知識循環型社会」の実現のために必要なプロセスと実現に向けての課題について説明する。			単元テスト	◎	○	
					ノート・レポート提出		○	◎	
					授業態度			◎	
10 11	科学・技術の歴史の中での社会 弱いつながり	14	・科学・技術の歴史を読み取り、「道具としての意味合いを持った科学」の内容を的確にとらえる。 ・科学と社会との関わり方について自分の考えを深める。 ・意味段落のまとまりを意識して読み、各段落の内容、および文章全体の構成をとらえる。 ・筆者の言う「弱い絆」をつくるにはどうしたらよいか、自分の考えをまとめる。			単元テスト	◎	○	
					ノート・レポート提出		○	◎	
					授業態度			◎	
12 1	疑似群衆の時代 偶然とは何か	10	・文章の内容を踏まえ、メディアと群衆現象の関係を整理する。 ・「待機する群衆」が潜在させている力について、自分の考えを述べる。 ・人間の「必然」と「偶然」についての歴史的なとらえかたについて読みとる。 ・「偶然」の持つ価値について考えを深める。			単元テスト	◎	○	
					ノート・レポート提出		○	◎	
					授業態度			◎	
2 3	「である」ことと「する」こと 「安楽」への全体主義	14	・各段落の要旨をまとめ、「民主主義」についての筆者の考えをとらえる。 ・文章内容を新聞の投稿文の内容と関連づけて考察する。 ・人々の精神状態を「安楽への隷属」と表現する筆者の意図を読み取る。 ・筆者の考えを踏まえ、現代社会についての自分の考えを具体例とともに論述する。			単元テスト	◎	○	
					ノート・レポート提出		○	◎	
					授業態度			◎	
学習の アドバイス	反復して問題演習を行い、学んだ知識を使うことにより忘れないようにしましょう。								